



令和5年10月27日

報道関係 各位

名古屋市立大学 看護地域連携センター

センター長 金子 典代 電話 052(982)7339

名古屋市立大学 看護地域連携センター事業 なごや看護生涯学習公開講演会のご案内

## 「『しびれている身体で生きる』から学ぶ

### 現象学的研究成果と看護ケアイノベーション」

名古屋市立大学看護地域連携センターでは、地域の医療現場で働く看護職者が求めている知識、情報、話題などを提供し、地域住民へ提供する医療の質向上に貢献することを目的として毎年公開講演会を開催しています。

今年度は、淑徳大学看護栄養学部准教授 坂井志織氏を講師としてお招きする、なごや看護生涯学習公開講演会を企画いたしました。

“しびれ”や高次脳機能障害、慢性疾患など一見すると病いがわかりづらい・伝わりづらい患者の経験を、記述的に示す現象学的アプローチにより理解し、看護ケアにつなげていく取り組みについて、看護職者ならびに保健医療福祉職の方々と共に学ぶ機会を設けます。

この講演会を広く知っていただきたく、ご案内申し上げますとともに、ご取材いただきますようよろしくお願い申し上げます。

#### 記

- 1 日 時：令和6年2月17日（土）13:30～15:00
- 2 テー マ：『しびれている身体で生きる』から学ぶ  
現象学的研究成果と看護ケアイノベーション
- 3 講 師：淑徳大学看護栄養学部准教授 坂井志織氏
- 4 会 場：名古屋市立大学 さくら講堂  
(Zoom 遠隔ライブセミナー併用)
- 5 対 象 者：看護職者、保健医療福祉関係職者
- 6 定 員：300 人（要申込） 申込締切 令和6年2月5日（月）

7 受講料：1,000円

8 申込方法：下記の方法で、申込み手続きをお願いします。

①メールでの申込方法 応募用紙をセミナーサイトよりダウンロードして、  
必要事項記入の上、n.center@med.nagoya-cu.ac.jp（看護地域連携センターへ送信）

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/lifelong-meeting/index.html>

②名古屋市電子申請サービスより申込

<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya/smart-apply/apply-procedure-alias/202309221537>

問合せ先：名古屋市立大学看護学部 看護地域連携センター

（名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）

電話：052-853-8042（不在時：052-853-8037） FAX：052-853-8042

E-mail：n.center@med.nagoya-cu.ac.jp

## 【講師 坂井志織氏プロフィール】

### 〈学歴及び職歴〉

日本赤十字看護大学卒業後、都内総合病院で看護師として勤務  
タイバンコクの私立病院では日本人コーディネーターとして勤務  
帰国後、日本赤十字看護大学助教を経て、

2015年首都大学東京人間健康科学研究科博士後期課程修了

2022年より現職

日本看護科学学会若手研究推進委員、臨床実践の現象学会事務局長、日本質的心理学会編集員、  
日本保健医療社会学会看護・ケア研究部会役員等を務め、現象学的研究を実践や学術に根付かせる  
活動を行っている。



### 〈著作物など〉

- ・「看護職とハラスメント“サバイバー”の語りから見えてくるもの」看護職とハラスメント実態調査班編、2023
  - ・「しびれている身体で生きる」日本看護協会出版会、2019
  - ・「病い経験の可視化・共有化の社会的実験——地域住民参加型『生き生きカフェ』プログラムの開発実践」質的心理学研究、20(special)、180-187.
  - ・「つながりにくい時間—しびれている身体で生きられた時間」臨床実践の現象学、1(1)、1-14.
- 他、多数

# 『しびれている身体で生きる』から学ぶ 現象学的研究成果と看護ケアイノベーション

淑徳大学看護栄養学部准教授 坂井志織先生

一見すると病いがわかりづらい・伝わりづらい“しびれ”や高次脳機能障害、慢性疾患などの患者経験を、記述的に示す現象学的アプローチにより理解し、看護につなげていく取り組みをされている坂井志織先生にご講演いただきます。

## 講演要旨より

現象学的な取り組みでの一番大きな発見は、しびれが神経損傷部位にあるのではなく、“しびれている身体”として経験されていたことである。

現象学的研究の成果は、見ているのに見えてない、聞いているのに聞こえていなかったことに含まれていた意味を看護師に見えるようにしてくれる。それによりこれまでとは異なる看護の本質に根ざしたケアが生成され、実践におけるイノベーションをもたらすと言える。



日時

2024年2月17日（土） 13:30～15:00

会場

名古屋市立大学 さくら講堂（Zoom遠隔ライブセミナー併用）

対象  
人員

看護職者、保健医療福祉関係職者 300人  
（先着順、事前申込みが必要。申込締切：2月5日）

学生無料



参加費

1,000円（なごや看護学会会員は500円。振込締切：2月8日）

ホームページ

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/index.html>



名古屋市  
電子申請  
サービス

詳しい申込み方法につきましては、左記QRコードより  
名古屋市電子申請サービス または  
看護地域連携センターホームページをご覧ください。



看護地域  
連携  
センター

### ●問い合わせ●

名古屋市立大学 看護地域連携センター  
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1  
E-mail n.center@med.nagoya-cu.ac.jp  
TEL 052-853-8042 052-853-8037（不在時）

